

おぼえよう！ よい子の水辺の おやくそく

～「ライフジャケット」は命のおまもり～



たの 楽しく水辺で遊ぶための合言葉、言えるかな？
みずべ あそ

「かっぱの“お・さ・ら”！」

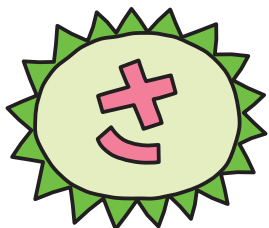
うみ かわ みずうみ いけ 水辺では気をつけないとあぶないところがあるよ。

「かっぱの“お・さ・ら”！」の合言葉を覚えよう！！



おとなといっしょに！！

子どもだけで水辺に近づかないこと！水辺では、足をすべらせてころんだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



サンダルはぬげないものを！！

水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうとしたり、流されたものを追いかけていたりして事故につながることがあります。まずは、ぬげないもの（かかとがとめられる「サンダル」や「くつ」）をはくこと！何かを落としたり、流されたりしたら、近くに



「ライフジャケット」をつけよう！！

水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに！事故が起ころうとしても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助かっています。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう！



「ライフジャケット」をつけると安心だね

Q. ^{にんげん}人間の^{からだ}身体はどれくらい^う浮くの？（た——っぶり^{いき}息を^す吸った^{とき}時）



①



かた
肩くらい

②



かお
顔がでるくらい

③



あたま さき
頭の先がちょこっただけ

A. ^{にんげん}人間の^{からだ}身体は^{いき}息をた——っぶり^す吸っても^う2%くらいしか^う浮きません！

※^{からだ}体の中に^{なか}空気が^{くうき}いっぱいある^{とき}時

^{なが}流れている^{みず}水や^{なみ}波のあるところだと、^{いき}息ができずに、^{おぼ}おぼれてしまうことがあります。
そして、ほとんどの^{ひと}人は^{いき}息をはくとしずんでしまいます。
^{しぜん}自然の水辺では、^{みずべ}プールで^{およ}バリバリ泳げる人でも、^おオリンピックに出た^{すいえいせんしゅ}水泳選手でも
^{おぼ}おぼれてしまうことがあるんです…。

せいかい
正解は
③!!

ちょっとしか
うかないんだね。



「ライフジャケット」をつけると
^{かお}顔が^{みず}水より^{うえ}上に出ます！

だから、^{みずべ}水辺に^{ちか}近づく^{とき}時は…

「かっぱの“お・さ・ら”!」を^{たいせつ}大切に！
「ライフジャケット」を^{じゅんび}準備しておこう!!

～ 大人の方へ ～

子どもたちは思っているより浮きません。
なので、一瞬でしずんでしまうことがあるんです。子どもたちがおぼれる時は、音も立てずにしずかにおぼれる…と言われています。
見守る時は腕の届く範囲で、そして、必ず「ライフジャケット」を準備してくださいね！
大人も「ライフジャケット」をお忘れなく!!

＼^{どうが}動画でわかる！／



ライジャケサンタの
^{みずべ}あんぜんぎょうしつ
「水辺の安全教室」



水辺に出かける前に、お子さんと一緒にこちらのWebサイトで 学んでください！



子どもたちに
ライジャケを！



香川県教育委員会
「学校における水難事故
防止対策強化事業」



公益財団法人
日本ライフセービング協会
「e-Lifesaving」



公益財団法人 河川財団
「水辺の安全ハンドブック」

本資料は、学校や園などでの授業目的での使用に限り、ご自由にお使いいただけます。資料の転載・改変はご遠慮ください。
授業以外での使用をご希望の場合は、こちらに事前に連絡をお願いします。▶「子どもたちにライジャケを！」 info@lifejacket-santa.com